

サブジェクト・ミッション

< 自分で道を切り拓くことができる人材の育成 >

キャリアサポート・ポリシー

< 目指す資質・能力に関する指針 >

卒業・進路

カリキュラム・ポリシー

< 教育に関する方針 >

教育・能力開発

アドミッション・ポリシー

< 入学者の受入に関する方針 >

募集・入試

ICT利用・ポリシー

< 情報通信技術の適切な利用を促進し、デジタルリテラシーの向上と安全なオンライン環境の確保に関する指針 >

専門知識・情報社会

インターンシップ・ポリシー

< 社会実務経験を重視し、インターンシップに関する指針 >

就業体験・実務経験

< カリキュラム・ポリシー >



1. 商業科目の強化

デジタル社会やグローバル化に伴い大きく変化する社会経済の動きを理解した職業人を育成する為に、全商検定を中心とした各種の検定や資格の取得を奨励します。

2. 実践的なビジネススキルの育成

学校活動や課外活動、地域企業との交流を通じて、実践力やリーダーシップ・チームワークのスキルを伸ばし、社会に貢献できる人材を育成します。

3. ICTの知識と活用

ICT機器を利用したプレゼンテーション能力の習得及びオフィススイートの活用など、デジタルスキルの向上を図ります。

4. ITモラルの向上

ソーシャルメディアの影響やリスクについて理解し、誹謗中傷しないことはもちろん、自分がトラブルに巻き込まれないように回避するための危機管理能力を身に付けます。

5. 高難度資格への挑戦

上級学校と連携し、高度な国家資格や各種検定試験を合格できる環境をつくり、常に向上心をもって高校生活を送れます。

6. 進路選択とキャリア開発

将来の進路に関する個々の相談を通じ、生徒が希望する将来の目標を達成できるように、サポートします。大学を中心として上級学校への進学も、高校在学中の学習を生かして入学することができ、就職同様幅広く対応できます。

7. 個別指導とフォロー体制

生徒一人ひとりの習熟度や希望に合わせて、個別指導を提供し、全ての生徒が学習面に不安を覚えることなく授業に参加できる環境を整備しています。

< キャリアサポート・ポリシー >



1. 自己分析支援

自己理解を深め、自身の強みや弱みを理解し、高校生活の中で長所伸展・弱点克服を促し、適切な進路選択ができるようにします。

2. 個別カウンセリング

生徒一人ひとりの個性や将来の目標に応じて、随時、個別カウンセリングを提供します。

3. 進路情報提供

生徒と保護者に対して、進路指導部と連携し、大学・短大・専門学校や就職先などの情報を提供し、正確な情報に基づいた選択をサポートします。

4. スキル開発プログラム

必要な職業・進路スキルを磨くために課外講座等を提供し、生徒が競争力を持てるよう支援します。

5. マネーリテラシー教育支援

将来のキャリアや個人的な財務計画を理解し、将来の財務管理に自信を持ち、健全で経済的自由な生活を送るための知識や判断力を身に付けることができる支援をします。

6. 進路ガイダンス教育

進路選択に関する基本的な知識を提供し、自己理解を促進するための教育プログラムを実施します。

7. 3年間を通じた体系的な進路決定

<1年生> キャリア探索の基礎

自分を理解する・業界を知る・職業を知る

<2年生> 職業体験

職業を体験する・必要な能力、資格を身に付ける・進路先を研究する

<3年生> 進路目標実現

面接対策・卒業後に必要なスキルを身に付ける

< アドミッション・ポリシー >



1. 学習意欲と向上心

中学校まで学習をしない、商業科の内容を積極的に学びたいという意欲と持続的な向上心を持ち、成長したいという強い意志がある生徒を求めます。

2. 協調性とチームワーク

チームの一員として協調性をもち、お互いの価値観を認め合いながら、プロジェクトに積極的に参加し、仲間と共に成長する意欲がある生徒を求めます。

3. コミュニケーション能力

コミュニケーション能力を有し、学校生活を通じてクラスメイトや教員と協力して学び、知り得た情報を効果的に共有する姿勢がある生徒を求めます。

4. 将来の目標と意欲

将来の職業や進学先を具体的に考え、高校生活においてビジネススキルを身に付け、その実現に着実な準備を進める姿勢がある生徒を求めます。

5. 柔軟性と創造性

社会の変化に対して柔軟に対応でき、新しいアイデアやアプローチを考え出す創造性や探求する意欲がある生徒を求めます。

6. 責任感

学業や課外活動において責任感を持ち、主体的に自身の目標や課題に真摯に向き合い、学校内はもとより地域・社会において貢献できる生徒を求めます。

< ICT(情報通信技術)利用・ポリシー >



1. ICT機器の学習ルール活用

ICT機器を用いて教育を行い、主に学習アプリやビジネスプラットフォームを活用し、現在のデジタル社会に対応できる人材の育成を目指します。

2. セキュリティ

個人情報やプライバシーを尊重し、デジタルデータのセキュリティ対策を徹底します。

3. デジタル資源共有

iPadなどを活用し、情報や学習資源をもとに、デジタル教育を通じてITリテラシーを向上します。

4. デジタルリテラシー

インターネットをやデジタルメディアを活用して情報収集する方法を身に付け、そこから得られる情報を識別し、信頼性の有無に関して自己判断できる能力を養います。

5. クリエイティブな学び

専門学校など外部機関と連携し、動画作成・編集などのクリエイティブな活動ができるよう、関連アプリやツールの活用方法を習得し、創造性や発想力、プレゼン力を身に付けます。

6. 実戦力の育成

社会人として必要なオンライン会議やオフィススイートを活用しての共同編集作業、フォームでのオンラインアンケート作成と集計方法を学びます。

7. iPadによる協働学習

生徒同士や生徒と教員の協働学習を深化する為、iPadを用いたプロジェクト作成やグループ活動を促進し、コミュニケーション能力や責任感を高めます。

8. オンライン行動規範の策定

オンライン上での行動について規範意識を高め、サイバーハラスメントの防止に努めます。

< インターンシップ・ポリシー >



1. インターンシップの意義

実際の職場環境での経験を積む機会を提供し、将来の進路選択に役立つ実践的な知識を身につけることを目指します。

2. インターンシップの目的

在学中に行うことで将来の目標やビジョンを探求することができ、受入れ企業と連携して、より現実的かつ適切な進路決定が可能になります。

3. 評価とフィードバックの仕組み

インターンシップの成果を適切に評価し、生徒に対してフィードバックできる体制を整え、成長の機会を最大化します。

4. 学校生活との融合

インターンシップの活動を振り返り、達成項目と未達成項目を分析し、以後の学校生活で通じて得た経験をカリキュラムに組み込み、学業との連動を促進して、実践的な知識と理論的な学びを結びつけます。

5. 進路決定サポート

インターンシップを通じて得た実践的な経験、知識をもとに、自らのキャリアを発見し、進学や就職に向けた具体的な進路決定をサポートします。

6. 地域の企業との連携

地域の企業や関係機関と連携し、生徒に多様な職場体験の機会を提供すると同時に地域の企業とのパートナーシップを強化します。